

## 診療科の枠を越えてがんの治療について話し合う がん診療科 カンサーボード

兵庫医科大学病院は地域がん診療連携拠点病院（高度型）に指定されており、専門的ながん医療を提供しています。各診療科でのカンファレンス（症例検討会）のほか、多職種横断的カンファレンス、倫理的視点からのカンファレンスなどを実施しながら、診療科の垣根を越えたがん診療を行っています。

### 病院全体が一つのチームとして がんに向き合う

近年、がん治療は手術・放射線療法・化学療法のいずれもが大きく進歩しており、治療の選択肢は多岐にわたります。一方で、高齢化に伴い合併症の多い方、超高齢の方など、簡単には治療方針を決定できない患者さんもいらっしゃいます。このような、科学的根拠（エビデンス）が十分とはいえないケースの治療方針決定に有用なのが、カンサーボードと呼ばれる、各診療科の専門家が集まるカンファレンス。多角的な視点から最善の治療方針を導きます。また、重複がんの治療など担当の診療科のみで対応が困難な場合は、カンサーボードで各方面の専門家から意見を集め、治療方法を検討します。

### カンサーボードって？

手術・放射線療法・化学療法に関わる専門的な知識や技能を有する医師のほか、その他の専門医師や医療スタッフが集まり、がん患者さんの症状や状態、治療方針などについて意見交換・共有・検討・確認などを行うカンファレンスのこと。

#### <主な参加メンバー>

内科医、外科医、看護師、放射線診断科医、放射線治療科医、病理診断医、地域連携病院医師、薬剤師 など

### 現場 レポート

## カンサーボードに潜入！

兵庫医科大学病院のカンサーボードをのぞいてみました！

内科、外科、放射線科、病理診断科の医師などが集まり、がん診療についての報告、治療方針の検討などが行われます。

カンサーボードの開催は月1回。各科のカンファレンスは週1回で、30～90分程度かけて行われます。



病状のほか、お仕事や家族構成など日常生活についても情報共有。退院後の生活にも配慮しながら、最適な治療方針について議論します。

院内だけでなく、地域の連携病院の医師が参加することもあり、院内外の連携の強さにつながっています。